

「アイス・バケツ・チャレンジを覚えていますか？」

暑い！熱い！あつい～！！今年の夏は、ことのほか暑い。セミまで地面でひっくり返っていました。各地から、毎日のように熱中症で人が倒れるニュースが、取り上げられています。図書館の隣の公園では噴水で子どもたちが、毎日のように水浴びをしています。暑さに耐えながら通勤、図書館に着く頃にはふらふらになっています。

頭から水をかぶりたい！！

思い出しました。去年の今頃バケツの水をかぶるパフォーマンスがありました。「水をかぶるか、寄付をするか。」IT企業の経営者、元大統領など世界の有名人を巻き込んで、日本でも大企業の経営者から芸能人などがやっていました。アイス・バケツ・チャレンジは、何のパフォーマンスだったか。ALS（筋萎縮性側索硬化症）という難病を世間に知ってもらうためのものだと聞いています。健康に生活していた人が、ある日突然病名を告げられる原因不明の病気です。原因不明で予防も治療方法もない、発症したら5年程度で死に至る病気です。例外かも知れませんが、イギリスの理論物理学者のホーキング博士のように、病気の進行が止まって50年近く存命している人もいます。最近では、サッカーのFC岐阜の社長さん、広告プランナーのヒロさんなどがTVで紹介されて、少しは知られるようになってきていると思います。この病気は、本人が一番つらいけれど家族や周りの人もとてもつらい。病気の進行を遅くできても治る見込みがない、少しずつ衰弱していく姿を見ているしかできない。私も親類の者がALSで今年亡くなり同じ思いをしました。死に至る病気、治癒の難しい病気で、世間であまり知られていない病気を、世の中に知ってもらう機会があるといいかと思いました。 (A)